

- 日時 令和3年（2021）3月24日（水）14：00～16：00 ■場所 熊本市役所 14階大ホール
 ■出席者 伊東（龍）委員長・伊東（麗）委員・河島委員・西嶋委員・服部委員・廣瀬委員・毛利委員・山尾委員・山田委員 計9名
 ※坂本委員、永田委員、松田委員は欠席

【前回委員会の主な意見について】

委員	委員意見	当日の回答	対応
	発言なし		

【報告】

1) 今年度の取り組み状況について（熊本城調査研究センターの活動内容、復旧状況等について）

委員	委員意見	当日の回答	対応
毛利	<ul style="list-style-type: none"> （令和3年3月清爽園弔魂碑修復工事完了報告を受けて）熊本地震でずれていた清爽園の記念碑が修復できたので安心した。 合同庁舎跡地に設けられた仮設建物は、危険がないよう適切に管理していただきたい。 		<ul style="list-style-type: none"> 報告済。 仮設建物は部材・遺物等の倉庫は、熊本城総合事務所適切に管理する。
服部	<ul style="list-style-type: none"> 天守閣のエレベーターは、停電時の避難路を想定しているのか。 馬具櫓の部材は全部再利用可能なのか。 合同庁舎は史跡外か。図面では特別史跡に入っていないため、現状と異なるのでは。 	<ul style="list-style-type: none"> エレベーターや階段周りに堅穴区画を設置して、避難時に待機ができるようにしている。運営スタッフをしっかりと教育して有事の際に安全に案内できるよう努める。 部材の再利用は解体をしないと判断が難しいが、繕いをしながら使える部材はできるだけ再利用する。 史跡内。図が誤っていた。 	<ul style="list-style-type: none"> 回答済。 回答済。 資料修正（資料6参照）。

山田	<ul style="list-style-type: none"> ・復旧について現状の進捗状況は。 ・天守閣展示図録は ISBN をとった本として販売するのか。そうであれば情報発信の選択肢が増え、購入の機会も増えるのでは。 	<ul style="list-style-type: none"> ・遅れもなく、早く進んでいるわけでもなく、一歩一歩着実に進んでいる。文化財修復検討委員会での審議や、文化庁に相談しながら復旧に遅れが発生しないよう努めている。 ・図録は ISBN をとって一般販売する。県内の書店やインターネットでも購入可能。販売開始予定は4月26日から。 	<ul style="list-style-type: none"> ・回答済。 ・回答済。
西嶋	<ul style="list-style-type: none"> ・合同庁舎跡地の景観は重要なポイントである。ただ限られた場所にプレハブを選定せざるを得ないので、全体計画を最初に示してほしい。全体像を示めされれば理解がスムーズにいくので、今後は事前の説明をお願いしたい。 ・J T跡地もNHK跡地も特別史跡内、三の丸第2駐車場は特別史跡外。資材置場保管庫は史跡外の選択肢はなかったのか。最新の資料に基づいて全体像を説明していただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・20年の復旧基本計画に沿って作業を進めているが、石置き場と部材置き場両方が必要になる。計画の形と必要な保管庫が、事前に説明できるように検討する。 ・次回、正しい図を提示する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料6により説明。

2) 天守閣・長塀屋外照明改修計画について

委員	委員意見	当日の回答	対応
西嶋	<ul style="list-style-type: none"> ・天守閣と長塀前の照明改修については、都市デザイン室と連携していくと聞いていたが、今日の資料は光のマスタープランと混在して理解が難しい。まず光のマスタープランを説明して、その後の検討を説明していただきたい。 ・マスタープランはかなり踏み込んだ内容であるが地域と連携した痕跡がない。手続きや、地域との連携・有識者の意見や経過など説明を受ける必 	<ul style="list-style-type: none"> ・マスタープランの作成と天守閣ライトアップの改修は同時並行で進み、マスタープランを踏襲するデザインで改修計画を進めてきた。マスタープランは相当なボリュームがあり、詳細まで説明するのは難しいことから、今日は熊本城にかかわるポイントを説明した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・光のマスタープランや天守閣・長塀の屋外照明改修の資料がわかりづらく説明が不足していたという指摘については真摯に受け止める。 ・今回の照明改修については、前回の委員会の終了時に資料をお渡しし、内容を確認いただき、メール等で個別でのご意見をいただく形とした。 ・今後は、今回のように、市としての大方針に沿った事案についても、本委員会で審議いただく必要があ

	<p>要があると感じた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 公表されている光のマスタープランをなぜ事前配布できないのか。委員に対する説明になっていない。景観計画という上位計画との整合性はとれているのか、これは都市デザイン室にも伝えている。重要な問題を抱えているため、再度説明・検討いただき、委員他の意見を反映してより良いものにしていただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> マスタープランと改修計画の資料を準備する。ご質問・ご意見について、皆様からお聞かせいただき内容を理解いただけるよう努める。 	<p>る案件については、説明時期や方法についてしっかりと整理し、説明を尽くしていきたいと考える。</p> <p><マスタープラン策定について（都市デザイン課）> 熊本市光のマスタープランは、策定の過程において、景観審議会、パブリックコメント、市民アンケートの実施など、市民参画の手続きを踏んで、頂いた意見等については、本編への反映を行った。</p> <p>また、策定後においても、実証実験（ライトスケープ・キャラバン）や個別の事業を検討する際に、テーマやアイデア等を市民と対話しながら、夜間景観づくりに努める。</p>
山尾	<ul style="list-style-type: none"> 光のマスタープランとこれに関係する資料は配布可能か。 	<ul style="list-style-type: none"> 委員会終了後に資料をお渡しし、質問・追加説明があれば対応する。 	
毛利	<ul style="list-style-type: none"> ライトアップ自体は大事なので進めてほしい。城下町のシンボルである熊本城が街の人に近いものになってほしい。高層マンションが出来始め、見えなくなったところもある。眺望のイメージ図はどのような判定基準でつくられたのか。視点場についてもある程度オーソライズした方がよい。地域との一体感をしっかり持ってほしい。 		
伊東（龍）	<ul style="list-style-type: none"> これは非常に大きな問題で、疑問もある。資料配布の上でもう一度審議いただくことをお願いしたい。たとえばライトアップの時間帯や方法、ライトアップの光による被害は出ないかなど。 	<ul style="list-style-type: none"> 光のマスタープランはパブリックコメントを済ませ策定しており、方針から外れないようライトアップを進めたい。工事が少し落ち着く時期でもあり、オリンピックの機運を盛り上げるという側面もあって今年度実施を予定している。 	
山田	<ul style="list-style-type: none"> マスタープランに即し、天守閣は色温度が高く、長堀は低い。お城の同じ構造物として個人的には違和感がある。違う考えもあっていいのでは。 	<ul style="list-style-type: none"> これからなので答えるのは難しい。アンケートは前後の比較が必要と考えている。天守閣では改修後のライトアップと改修前の写真で 	<ul style="list-style-type: none"> 長堀の照明改修工事の中で、冬頃にはLEDへの器具の取り換えが完了する予定である。

	<ul style="list-style-type: none"> ・長堀はアンケートを実施するのか。方法について聞かせてほしい。県立美術館の照明はLEDで、タブレットで色温度が変えられる。一灯でもいいから色温度を変えて比べられればいい。 	<p>比べていた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・その時点で、委員の皆様にご覧いただきながら、許容される範囲での色温度の調整をさせていただければと考える。
廣瀬	<ul style="list-style-type: none"> ・長堀のライトアップは山田委員と同じ意見。高さでいくとシティスケールであるが、城と街は違う色にした方がよい。色味ももうちょっと白くしたほうが、お城が浮かび上がる。 		
河島	<ul style="list-style-type: none"> ・街の外灯は冬はオレンジ、夏場は白と変化させている。この議論では時間帯での変化であるが、季節感で変化させているのが街の外灯である。 		
伊東 (麗)	<ul style="list-style-type: none"> ・既存と改修後では光量とか明るさは違うのか。 ・お城の動植物が24時間照射されるとその影響が心配だったが、今と変わらないのであれば大丈夫と思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・明るさは変わらない。むしろ改修後の方が光量は小さい。 ・常時照射ではなく、時間を決めて断続的に照らす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・回答済。 ・時間の設定についても細かな調整は可能となるため、状況を見ながら設定を行っていきたいと考える。
山尾	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの対象者についてももう少し教えていただきたい。県内・市内の方がほとんどか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートは来場者に街頭アンケートの形で直接行い、聞き取りが主な手段。県内・市内は半々。よくなったという意見が大半であったが、白色がいいという意見もあった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会については、これまで以上に丁寧な運営に努める。 ・具体的には、議題1の今年度の委員会 運営方針で説明させていただき、ご意見を伺いたい。 ・市民意見の聴取については、アンケートやパブコメなど様々な手法がある中で、内容に適したやり方の選択に努める。
西嶋	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな景観を作り出す事なので、熊本城の利活用において重要な作業だと思う。熊本城天守閣展示替えでは全体計画があって天守閣の展示替えを説明するべきと発言したところ、発言に沿った検討を丁寧にしていただいた。 		

	<ul style="list-style-type: none"> アンケートではJT・NHK跡地で委員から苦言を呈されている。事前相談や意見徴収なしにアンケートを提示されると、前回は思い出す。市民局になったのに、局長の挨拶と実体が乖離してしまっている。しっかり委員に説明して、時間がなければ事前に説明する。もう少し丁寧な運営を事務局にしていきたい。 		<ul style="list-style-type: none"> 計画的に委員会で審議等いただけるように、年間審議スケジュールを作成し、更新・管理していく。また説明の方法についても、全体計画や関連する計画を示した上で、個別の計画を説明するなど俯瞰的にも検討いただけるよう、工夫する。
--	---	--	--

3) 熊本城特別公開等について

委員	委員意見	当日の回答	対応
服部	<ul style="list-style-type: none"> 特別見学通路の現状変更はどんな形で許可をとっているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 復旧基本計画は2037年度で完了するので、2038年撤去の仮設物として許可をいただいている。 	<ul style="list-style-type: none"> 回答済。
廣瀬	<ul style="list-style-type: none"> 博物館が熊本城の中に入った雰囲気と感じた。とてもすばらしい。1日では回りきらないボリュームがある。入場者はコロナ禍もあり不透明なところ。今後も入場者を伸ばすには周知が必要。来城者に写真ポイントを聞かれたことがあるが、おすすめスポットの紹介がほしい。アプリを使って撮影することで広告になるとよい。インスタにアップしやすい環境をお願いしたい。 		<ul style="list-style-type: none"> 天守閣内では一部の映像を除き、撮影可としている。導入した「熊本城公式アプリ」は情報の追加も可能なので、今後は城域全体にも拡張したい。また天守閣内部公開にあわせ、天守閣前広場に鯨瓦をあしらったベンチや顔ハメ看板を設置した。引き続き、撮影スポットの紹介をはじめ、様々な広報展開に努める。

4) 令和元年度・令和2年度の委員会について

委員	委員意見	当日の回答	対応
	発言なし		